建物配置の利用

文書管理番号：1055-01

Q.質 問

敷地に対し建物の向きを変更して位置を決めたい。

建物の位置を任意に指示して配置したい。

A.回 答

敷地に対する建物の位置は、外構図の「建物配置」で設定します。

建物の位置や向きを任意に決めて配置する場合は、「建物配置」を利用します。

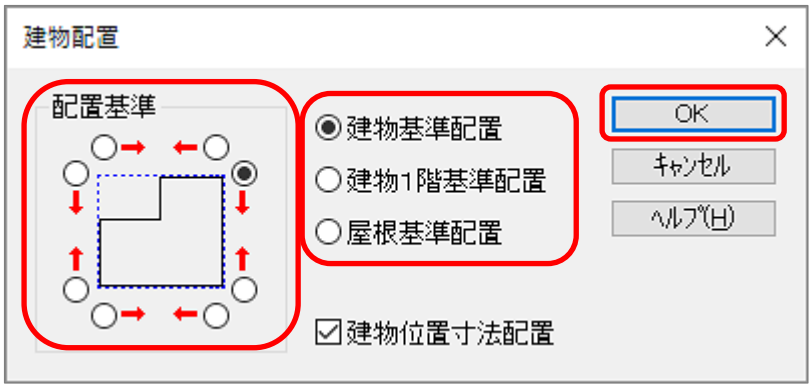
操作手順

① (外構図)で、ツールバーの (建物配置)をクリックし、左上部のクイックメニュー横の (建物配置)をクリック

＊ 建物配置の画面が表示されます。

＊ 「配置」⇒「建物配置」⇒「建物配置」を選択してもかまいません。

② 配置時の基準点・方向と基準形状を設定し、「OK」をクリック



＊ 配置時の基準点・方向

基準点：建物を配置する際の配置基準となります。

方向：作図モードが 2 点配置の場合に、指定した方向（赤色の矢印の方向）に任意で建物の向きを設定できます。

＊　基準形状

建物基準配置：建物の全体形状の外接矩形（オーバーハング部分を含む）

建物 1 階基準配置：建物の 1 階の形状の外接矩形

屋根基準配置：屋根の全体形状の外接矩形

＊　建物位置寸法配置にチェックを入れると、建物を配置後、外接矩形の各出隅から敷地境界線までの寸法が自動で配置されます。

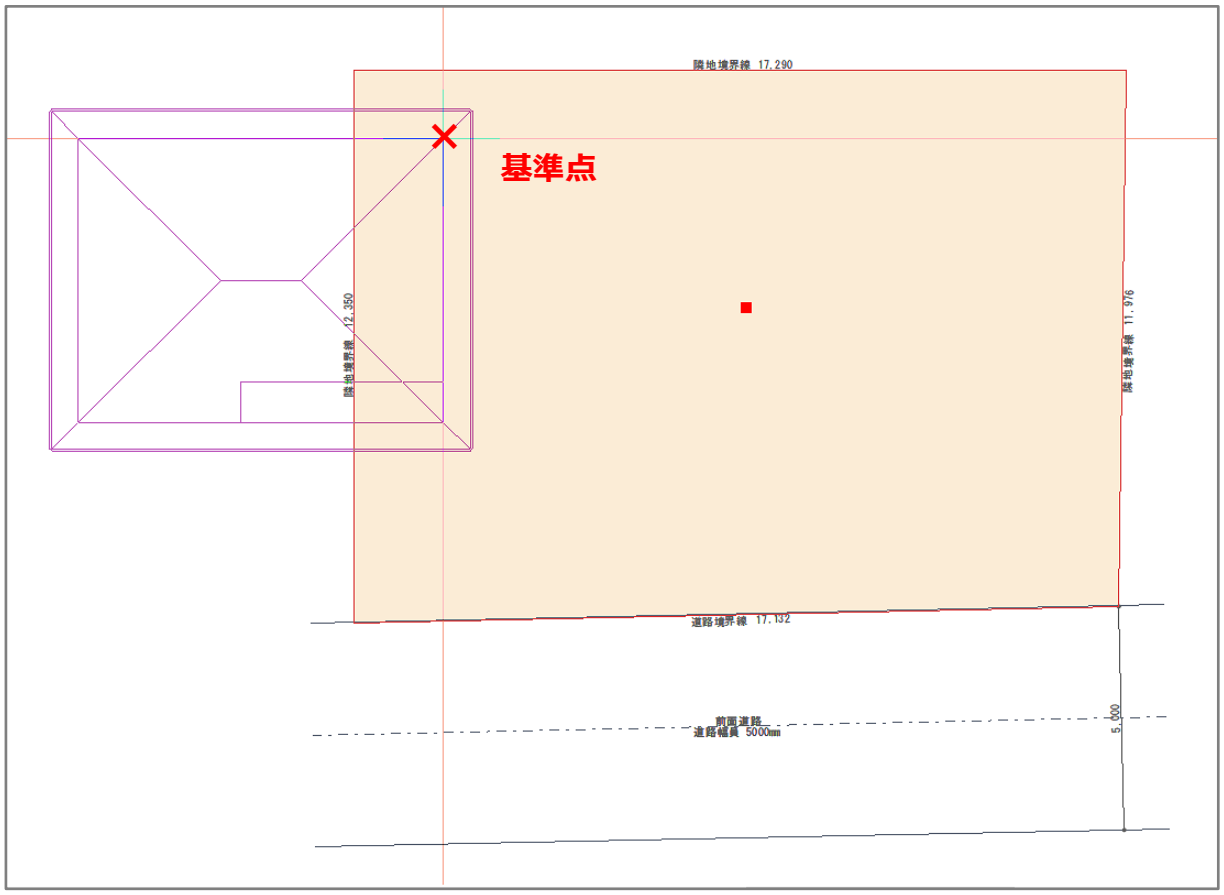
③　配置前に作図モードを選択

＊　1 点配置：建物の向きはそのままで、配置位置（配置点）のみ指示します。

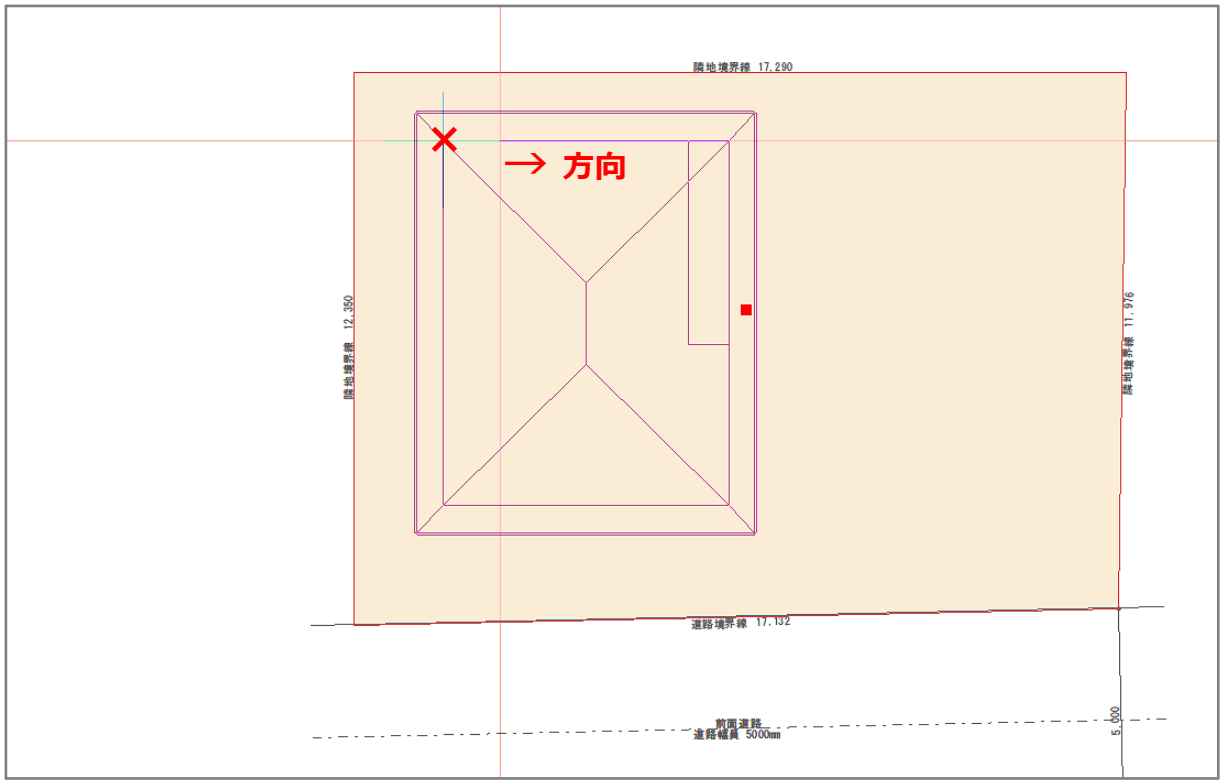
＊　2 点配置：建物の向きが指定できます。起点で配置位置（配置点）を、終点で建物の方向を指示します。

④　P.1 操作②で設定した配置基準の配置位置（基準点）をクリックし、2 点配置の場合は方向（終点）をクリック

＊　図は 2 点配置の場合です。



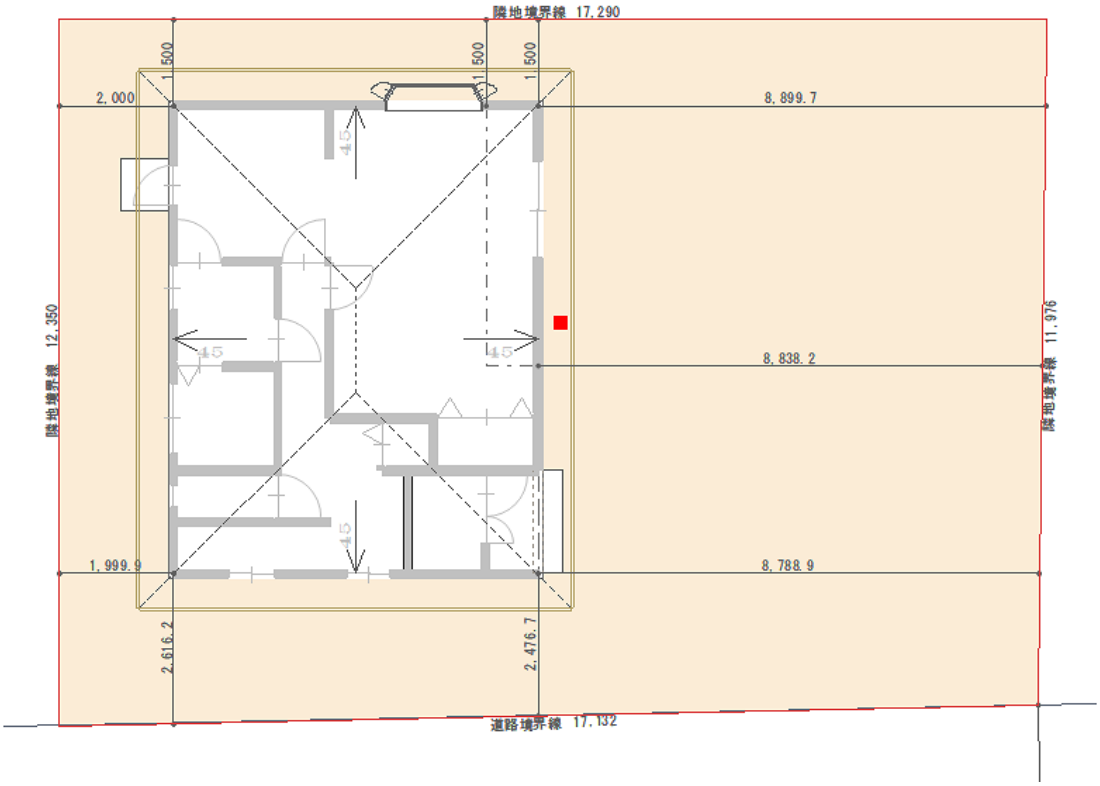
↓



＊　指示した配置位置と方向で、建物が配置されます。

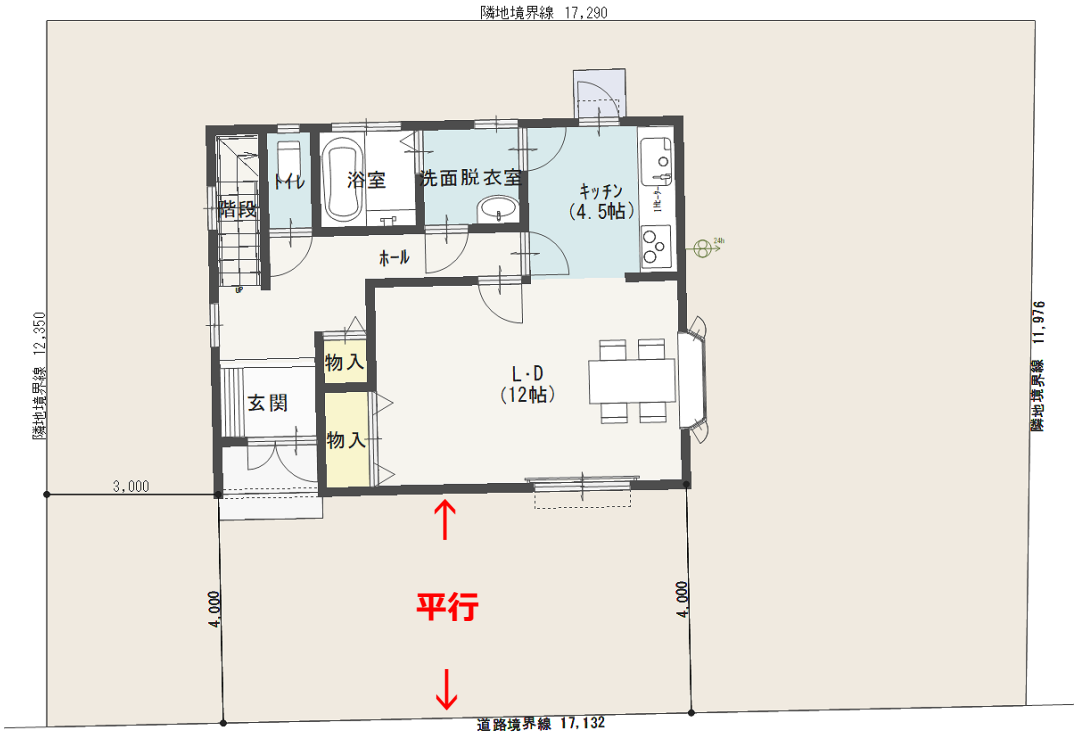
＊　1 点配置では、配置位置（配置点）のみ指示します。プラン図で入力している向きで、建物が配置されます。

＊　2 点配置では、配置位置（配置点）を指示後、建物の向きを決める配置方向を指示します。指示する方向の長さは任意でかまいません。

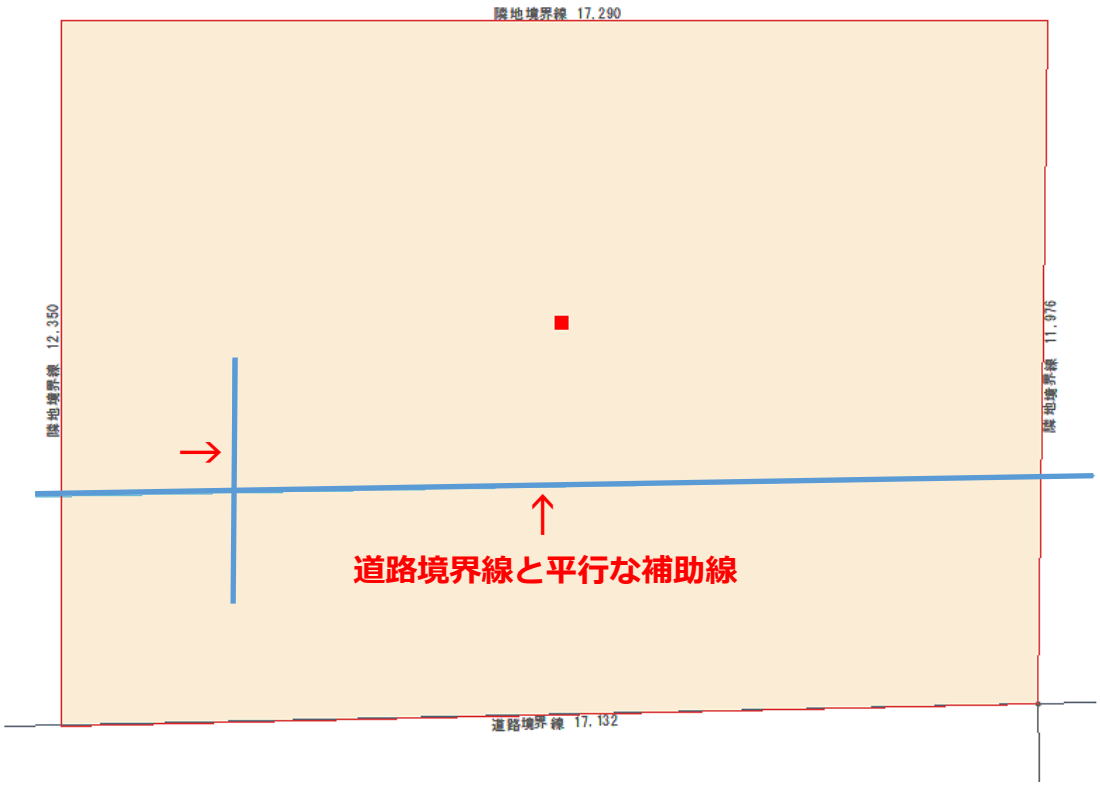


参考

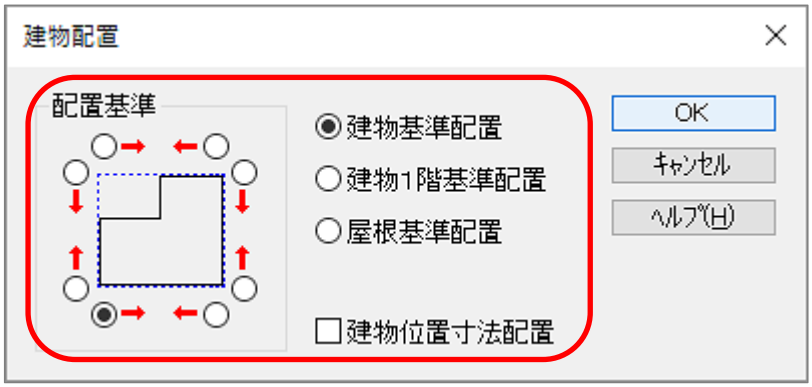
例えば、下のように道路境界線と平行に建物を配置したい場合は、建物配置の 2 点配置を利用して建物の位置を決めることができます。



① あらかじめ道路境界線と平行に補助線を引き、建物の配置基準位置を決める

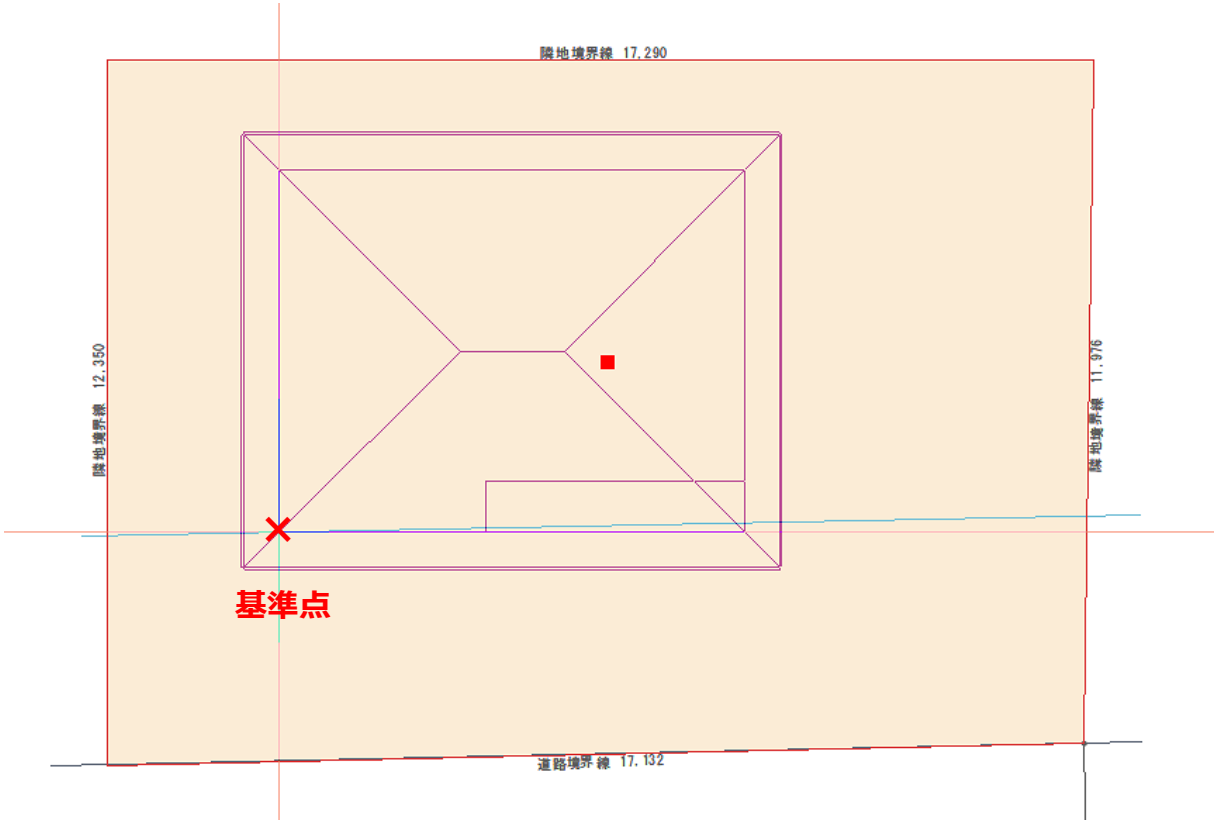


② 建物配置の配置基準を設定



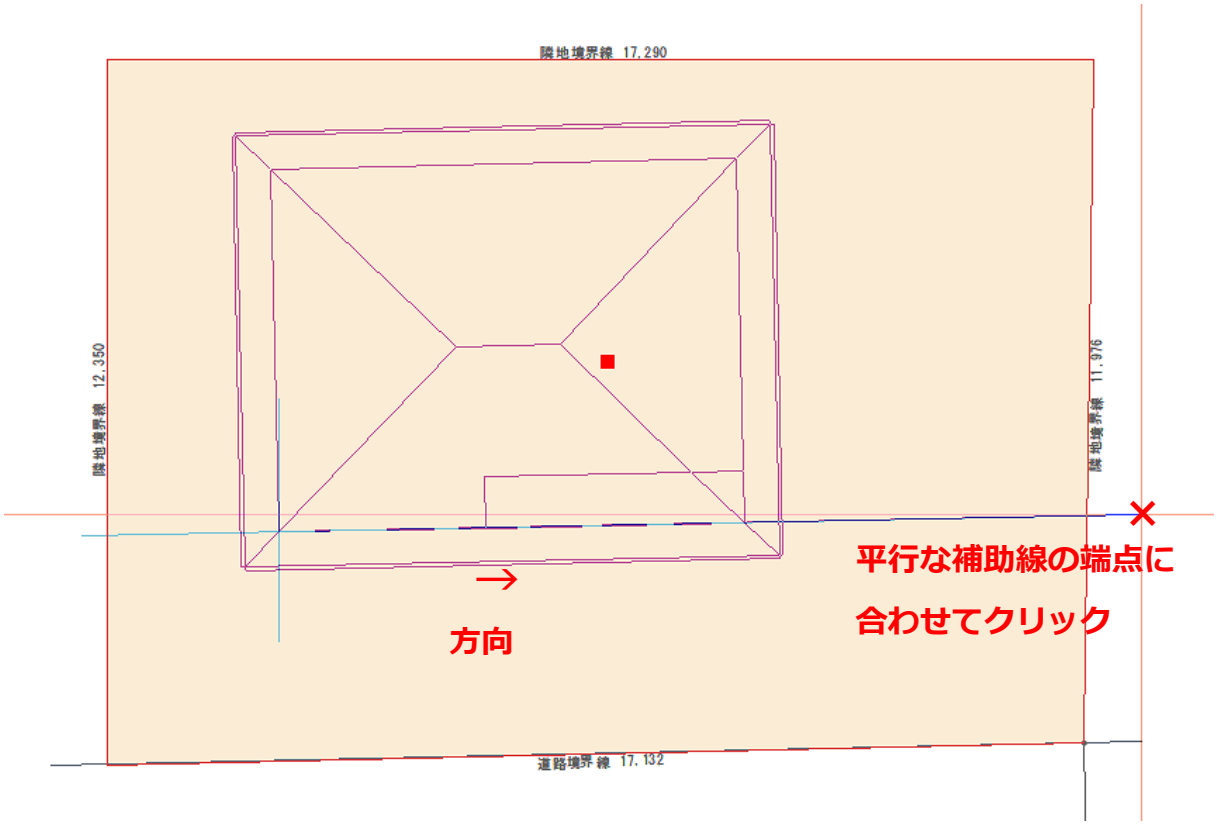
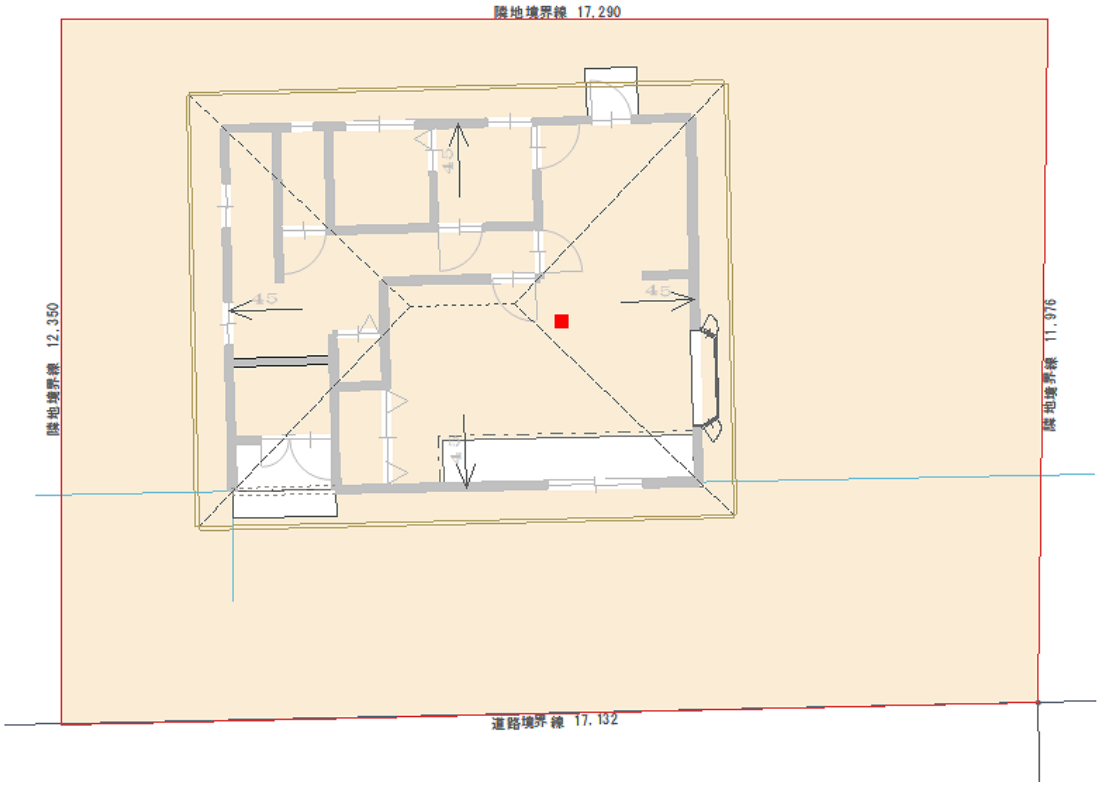
③ 作図モードを (2 点配置)に設定

④ 配置基準の配置位置（基準点）をクリック



⑤ 方向（終点）をクリックし、建物の向きを指定

＊　方向（終点）は、平行な補助線の端点に合わせてクリックします。



＊　指示した配置位置と方向で、建物が配置されます。